在宅医療介護連携事業について

1. 地域の医療・介護資源の把握
2. 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
3. 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
4. 医療・介護関係者の情報共有の支援
5. 在宅医療・介護連携に関する相談支援
6. 医療・介護関係者の研修
7. 地域住民への普及啓発
8. 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

上記、目的の中で主に（ア）地域の医療・介護資源の把握のシステム化を行う

　　グーグルマップを使用し医療・介護資源の検索マップの作成を行う

　　　・検索条件

　　　　　住所による半径ＸＸＸｋｍ以内の検索

　　　　　医療地区、市町村、学校区等

　　　　　診療科

　　　　　各サービス

在宅医療・・・在宅患者訪問診療、往診、歯科訪問診療、訪問薬剤管理指導　等

訪問看護・・・サービス提供日、緊急時体制、看取りの対応　等

　　　・行政からのお知らせの作成（各施設必要？）

上記目的、（キ）の普及啓発

上記目的、（イ）の対策後のお知らせ

上記目的、（オ）の相談窓口案内

等

・各施設の最新内容の更新ツール作成

【既存の情報の活用】

○在宅医療 　※資料１）在宅医療介護連携推進事業の手引きについて

医療機能情報提供制度、薬局機能情報提供制度を利用できるか。（厚生労働省、沖縄県）

○訪問看護 ※資料１）在宅医療介護連携推進事業の手引きについて

　 介護サービス情報公表システム（厚生労働省、沖縄県）

○津梁ネットワークへの接続。

　　　上記目的、（エ）の情報共有

・緊急時搬送時の対応